

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

関東ブロック大会 研究主題

生涯にわたって自立し共に生きる生活に向けて、食生活を工夫する生徒の育成
～ストーリー性のある題材構成を重視した課題解決学習の工夫～

研究仮説

- (1) 問題解決学習の過程を工夫することで、生活をよりよくするための課題を解決する力を身に付けることができるであろう。
- (2) 生徒の発想が豊かになるような活動形態を工夫することで、地域の一員として未来を創造する力を育成することができるであろう。

題 材 名	B 衣食住の生活 「食生活をより良くする食品の選び方を考えよう」
日 時	令和5年6月20日(火)
授業展開	14:00～14:50
協 議 会	15:00～16:30

技術・家庭科 学習指導案

日 時 令和5年6月20日(火) 5校時

対 象 2年 B組

場 所 家庭科室

- 1 題材名 「食生活をより良くする食品の選び方を考えよう」
(家庭分野B「衣食住の生活」(3)ア(ア)(イ)イ)

- 2 題材について

[題材観]

「中学校学習指導要領解説の技術・家庭編」では、日常食の調理と地域の食文化について「課題をもって、食品の選択と調理、地域の食文化に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常食又は地域の食材などを生かした調理を工夫することができるようにすること」をねらいとしている。

本題材では、目的に応じた食品選択を考えるうえで「環境」と「安全」をテーマとした食品の選び方の視点を増やすことをねらいとした。食を取り巻くニュースは、食品ロスや鳥インフルエンザ、輸入食品の値上げなど毎日のように話題になっている。今はまだ自分で食品を買ったり選んだりする機会が少ない生徒たちではあるが、食生活は生涯に関わるテーマであり、将来にわたって持続可能な食生活を考えていく必要がある。自分で食品を選ぶ機会ができたとき、今回の授業を思い出して様々な視点から食品を選択できるよう、新しい発見があり、生徒の印象に残るような授業にしたい。そのために、生徒の家庭から持ってきたパッケージやチラシを用いて、授業の内容が実生活とつながっている実感を持たせたいと考える。食を取り巻く問題やニュースを知り、現代の食の問題点を考え、値段や見た目だけでなく「環境」や「安全」にも目を向けて食品の選択ができる力を育てたい。

[生徒観]

本校の生徒は、真面目で何事にも一生懸命に取り組む生徒が多い。また興味・関心のあるものに意欲的に取り組むことができる一方で、学習意欲の高い生徒となかなか学習に気持ちが向かない生徒との差が見られる。食に関する話題は生徒にとって身近であるため、どの生徒も自分のこととして考え、発言しやすくなるよう題材を工夫したい。

食生活の学習に入る際に食品の選択に関するアンケートを1学年生徒96名に実施した。この結果から、食に関する問題について知っている生徒は7割以上いることが分かり、日常的にニュースなどを通じて食品の値上げや食品ロスの話題を知っている生徒が多くいた。一方で、普段から食品を選ぶ機会は1週間に1・2回と多くはないが、お菓子や飲料などは自分で選択して購入する機会があることが分かった。また、パッケージを見て買う生徒が全体の約7割、チラシやパッケージは見ないで買う生徒も2割程度いた。

- 1 食に関する問題で知っているものはありますか
ある・・・72人（75%）、ない・・・24人（25%）

- 2 1で「ある」と答えた人の中で食に関するどんな問題を知っていますか

食品の値上げ・・・20人	食品ロス・・・18人	鳥インフルエンザ・・・7人
食糧不足・・・5人	食中毒・・・3人	産地・表示偽装・・・3人
異物・農薬混入・・・3人	飲食店での迷惑行為・・・2人	

- 3 食品を購入することにどのくらい関わっていますか（家族と買い物に行くことも含める）

1週間に5回以上・・・4人	1週間に3・4回・・・10人
1週間に1・2回・・・61人	関わっていない・・・21人

- 4 自分で選んで買う食品にはどんなものがありますか

お菓子・・・33人	飲料・・・31人	パン・おにぎり・・・22人
弁当・・・2人	その他・・・8人	

- 5 食品を買う前にチラシやパッケージを見て食品を選びますか

パッケージのみ見る・・・62人	チラシもパッケージも見ない・・・21人
チラシもパッケージも見る・・・12人	チラシのみ見る・・・1人

- 6 食品を買うときに特に何を見たり考えたりして買いますか

値段・・・59人	期限・・・7人	内容量・・・6人
パッケージ・・・6人	カロリー・・・2人	原材料・・・2人
特に考えない・・・6人	その他・・・8人	

これらのことから、食への関心はあるが、食品選択の機会が少なく、自分で選んで買う食品も限定的であることが分かった。食生活の課題を知るだけでなく、自分の消費行動を見直すきっかけとなるよう、生徒にとって身近な食品を取り上げ、実生活に生かせるとともに将来まで役立つような食品選択の視野を広げられる授業にしたい。

[指導観]

生徒の中には、食品の選択に関して実生活と結びついている感覚が少ない生徒もいる。誰にとっても興味・関心が持てる授業にするために、食品のパッケージやチラシをおよそ数週間かけて生徒に集めてもらった。自分の家庭だけでなく、それぞれの家庭で集めたパッケージをたくさん用意することで生徒にとって身近で取り組みやすい課題になるよう題材を設定した。また、班でテーマを絞り、チラシやパッケージを調べ、発表することを通して、主体的に情報を見たり判断したりする力をつけさせたいと考える。

今回は、プリントに個人でまとめたものを班で話し合い、タブレットにまとめ、最終的に学級全体で発表しあう活動を行う。自分で発見したことをまとめるだけでなく、他者に分かりやすく伝える活動を通して、個人の食品の選択に対する考え方が深まるようにしたい。

3 題材の目標

- ①日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解するとともに、適切にできる。(知識・技能)
- ②日常の1食分の調理における食品の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考・判断・表現)
- ③家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて、環境と安全に配慮した食品の選択について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

4 題材の評価規準 (全6時間扱い)

観点	評価規準
知識・技能	①食品が食卓にのぼるまでの流れについて理解している。 ②生鮮食品と加工食品の特徴について理解している。 ③目的に応じた選択方法について理解しているとともに適切にできる。
思考・判断・表現	①日常の1食分の調理における食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ②日常の1食分の調理における食品の選択について実践に向けた計画を考え、工夫している。 ③日常の1食分の調理における食品の選択について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④日常の1食分の調理における食品の選択についての課題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて環境と安全に配慮した食品の選択の仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて環境と安全に配慮した食品の選択の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③家族や地域の人と協働し、よりよい生活の実現に向けて環境と安全に配慮した食品の選択の仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。 ※題材を通して、①～③の順に評価する。

5 指導と評価の計画

時間	学習活動(◆学習課題・学習活動)	評価規準
1	◆食品が食卓にのぼるまでの流れを理解しよう。 ・給食に使われている食品がどのように自分たちのところにわたしたちのもとに届くか考える。 ・食品の生産・加工、販売、流通について理解する。 ・食に関する問題やニュース(食品ロス、値上げ、	【知識・技能①】 【思考・判断・表現①】 【主体的に学習に取り組む態度①】

	食中毒、農薬混入など)を知る。 →環境や安全の視点につなげる。 ・食品を購入・消費する上で大切なことを考える。	
2	◆生鮮食品の特徴・保存方法を考えよう。 ・生鮮食品と加工食品の違いを考える。 ・生鮮食品の特徴をまとめる。 ・生鮮食品の旬を理解する。	【知識・技能②】
3 4	◆加工食品の種類と特徴を考えよう。 ・身近な加工食品をあげる。 ・加工食品の種類と目的を考える。 ・食品添加物の種類と用途を調べ、まとめる。 ・パッケージから表示の見方を知る。 ・次回の内容を知り、8グループに分ける。	【知識・技能③】 【思考・判断・表現②】
5 本時	◆生鮮食品のチラシや加工食品のパッケージを調べ、食生活をより良くする食品の選び方を考えよう。 ・家庭から持ち寄った生鮮食品のチラシや加工食品のパッケージを調べ、グループで表示内容の比較をする。(野菜、肉、お菓子、レトルト食品など) ・それぞれのグループで安全と環境に配慮した食品の選択の仕方を考え、GIGA タブの発表ノートにまとめる。	【思考・判断・表現②】 【主体的に学習に取り組む態度②】
6	◆グループごとに調べた食生活をより良くする食品の選び方を発表しよう。 ・前時にグループでまとめたものを発表する。 ・食品の安全を保つしくみについて知る。 ・他のグループの発表を聞き、食品を選ぶときに考えるポイントを環境や安全に関する視点をふまえて個人でワークシートにまとめる。	【思考・判断・表現③④】 【主体的に学習に取り組む態度③】

6 本時の指導

(1)小題材 「食生活をより良くする食品の選び方を考えよう」

(2)本時の目標

① チラシやパッケージを調べ、環境と安全に配慮した食品の選択について考え、工夫している。
【思考・判断・表現】

② 環境と安全に配慮した食品の選択について課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】

(3)展開 (4時間目/全5時間)

過程	時配	学習内容と生徒の活動	教師の支援及び指導上の留意点 ※評価(評価方法)
課題をつかむ	5	1 前時までの流れと本時の内容を確認する。 ・食に関する問題（食品ロス、値上げ、食中毒、農薬混入など）に触れ、少しでも自分の行動で良い方に変えられないか考える。 本時の目標：食生活をより良くする食品の選び方を考えよう ・事前にグループ分けされたチラシやパッケージを自分たちの机に持っていく。	[準備] ・GIGA タブ ・TV ・HDMI コード ・HDMI コネクタ ・生鮮食品、加工食品それぞれに短所・長所があり、より良い食品の選び方を考えられるようにする。
追及する	15	2 8グループに分かれてそれぞれのテーマでチラシやパッケージを調べてワークシートにメモをとる。(個人) ①野菜（きゅうり・トマト）の選び方 ②肉（牛・豚・鶏）の選び方 ③魚（鮭・鯖）の選び方 ④果物（メロン・いちご）の選び方 → チラシ・GIGA タブを活用して調べる ⑤レトルト食品の選び方 ⑥飲料・グミの選び方 ⑦チョコ・アイスの選び方 ⑧その他のお菓子の選び方 パッケージ・GIGA タブを活用して調べる ①～④は、	・事前にチラシやパッケージを家庭から持ってきてもらい8グループに分けておく。班のメンバーとそれぞれのグループが何を調べるかを決めておく。 ・値段や見た目だけでなく、「環境」「安全」に関わる選び方を考えるように促す。 ・他のグループが見つけないような発見があるよう調べる際に助言する。

		・新鮮なものの選び方（見た目・期限など） ・環境に配慮した選び方（地産地消・旬・有機栽培など） ⑤～⑧は、 ・パッケージの中で特に詳しく見ると良い表示とその理由（原材料名・保存方法など） ・環境や安全に配慮したマークや記述（教 P244→JAS マーク、特定保健用食品マーク、容器包装識別マークなど） を個人でワークシートにまとめる。	・マークなど実物を示した方が分かりやすい場合は GIGA タブで写真を撮るよう伝える。 ・マークの意味を調べる際は教科書 P244 を参考にしよう伝える。 ※チラシやパッケージを調べ、環境と安全に配慮した食品の選択について考え、工夫しようとしている。（ワークシート） 【思考・判断・表現】
深める	2 5	3 調べた内容を話し合い、ワークシートにメモをとる。 グループの代表者 1 人のタブレットを使い、SKYMENU のシンプルプレゼンに内容をまとめる。（グループ活動） ・食品を選ぶ時のポイントが分かりやすくまとめられるようにする。 ・次回 1 グループ 3 分以内で発表するため、グループ内で発表者（1～2 名）を決め、準備する。	・タブレットに打ち込む人は 1 人だが、グループ内で調べたりまとめたりすることを分担するよう促す。 ・発表者が困らないようにグループ内で話す内容を検討するよう促す。 ※環境と安全に配慮した食品の選択について課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
まとめる	5	4 本時のまとめと次回の内容を確認する。 ・食に関する課題と結び付けてこれからの生活に生かしたいことをワークシートに記入する。 ・次回の学習内容を知る。	・教師用の GIGA タブでスライド作成の進捗を確認し、次回の流れを伝える。

<それぞれ食品の選び方で生徒から出てほしい視点>

※は補足したい内容

	新鮮なものの選び方	環境に配慮した選び方
①野菜 トマト・きゅうり	・色がよく、つやがある、みずみずしいもの ・肉質がかたくしまっているもの	・旬のもの ・産地が近いもの（地産地消）
②肉 牛・豚・鶏	・肉質がしっかりしていて弾力があるもの ・ドリップが出ていないもの	・産地が近いもの（地産地消） ※容器がトレーでないもの
③魚 鮭・鯖	・色がよいもの ・ドリップが出ていないもの	・旬のもの ・産地が近いもの（地産地消）
④果物 バナナ・いちご	・色がよく、つやがある、みずみずしいもの	・旬のもの ・産地が近いもの（地産地消）

	特に詳しく見ると良い表示（理由） ※それぞれの班の考えでよい	環境や安全に配慮したマークや記述
⑤飲料水	・原材料名（添加物が多くないか） ・カロリー（高すぎないか） など	JAS マーク、有機 JAS マーク、特定保健用食品マーク、SQ マーク、容器包装識別マーク、国際フェアトレード認証ラベルなど
⑥お菓子	・原材料名（添加物が多くないか） ・内容量 （値上げにより量が少ない場合がある） など	
⑦レトルト食品	・原材料名（添加物が多くないか） ・賞味期限（近くないか） など	
⑧冷凍食品	・原材料名（添加物が多くないか） ・保存方法（中身が悪くならないように） など	